

平和とよりよき生活のために

広島の

# せいきょう

第15号 2004年12月24日  
広島県生活協同組合連合会発行

〒730-0012

広島市中区上八丁堀8-23 林業ビル4F

TEL 082-502-3850

FAX 082-502-3860

E-mail: kenren.h@proof.ocn.ne.jp

## 第33回 広島県生協大会 テーマ:地域づくり・つながりづくり

### プログラム

◆オープニングサート/シンガーソングライター

風呂哲州さん

◆式典/主催者挨拶、来賓祝辞、来賓紹介

◆特別報告/「櫛小窓活動報告」

澤千代子さん

／寸劇「あなたも私もそろって『カモ』かも?」 県連くらし・消費者委員会  
協力:広島県消費生活室

◆記念講演/「青少年の育成活動と人づくり・つながりづくり」

野村洋一さん

### ご来賓

●藤田雄山様 (広島県知事)

●宇田 伸様 (広島県議会副議長)

●増田 学様 (広島市民局長)

●池田信義様 (県労協協会長)

●中原律子様 (県消費者団体連絡協議会会長)

●西岡恒治様 (JA広島中央会理事)

●小熊竹彦様 (日本生協連中四国地連事務局長)



▲広島県知事  
藤田雄山様ご挨拶

10月25日(月)、広島県民文化センター  
ホールで、第33回広島県生協大会が300  
名を超える参加者の下に開催されました。

式典では、主催者富田会長理事の挨拶  
に始まり、藤田雄山県知事をはじめご来賓  
のみなさまから、生協への期待と励ましの  
メッセージをいただきました。

記念講演では、廿日市市野坂中学校区「お  
やじの会」代表の野村洋一さんに、青少年育成活動を真ん中において、学校・  
警察・地域住民に働きかけ地域ぐるみで取り組む実践をお話しいただきま  
した。

末期ガンの宣告をうけ余命を青少年のために生きる覚悟で、たむろする  
青少年への声掛け運動や暴走族からの脱会支援などを続けておられる体  
験談は、参加者に感銘を与える内容で、まさに「地域づくり・つながりづくり」  
について、大きな示唆をいただきました。



主役大!  
風呂哲州さん  
オープニングコンサート  
消費者トラブルをテーマにした楽曲も好評



記念講演  
野村洋一さん  
「子どもたちに問題行動を起こさせる家庭・  
地域社会のあり方について、きちんと向き  
合い、大人が変わらなければ。」

### 特別報告

「櫛小窓」代表

澤 千代子さん

生協ひろしま組合員9名で、  
リサイクル素材を使い様々  
なグッズを創作する、平均  
年齢72歳の元気な活動を  
報告。



寸劇「あなたも私もそろって『カモ』かも?」

出演:県連 くらし・消費者委員会

協力:広島県消費生活室(シナリオ・解説)



消費者被害事例(点検  
商法・架空請求)と対応  
を「寸劇」で伝えました。

## 「2004ピースアクション in ヒロシマ」開催

～「参加型」をキーワードに内容も名称も一新!～

日本生協連合会と広島県生協連合会では、毎年8月4・5・6日に、被爆の実相を学び核兵器廃絶の道を考える平和行事を開催しています。

今年は、来年の被爆60年に向けて、全国の平和活動を広島に持ち寄り、広げていくステップの年として位置づけ、名称も「ピースアクションinヒロシマ」(旧ヒロシマ行動)に一新。企画全体を「参加型」に模様替えしました。

メイン行事である「虹のひろば」と、被爆の証言や碑めぐり、コンサートなどの多彩な「分科会」の2つを軸とする「ピースアクションinヒロシマ」。

次世代への継承を重視し、子どもが参加できる企画を大幅に増やしました。

メイン  
企画

## ヒロシマ 虹のひろば

8月5日

広島県立総合体育館  
グリーンアリーナ

秋葉忠利広島市長には、メイン行事である虹のひろばに、例年ご臨席をいただいています。今年も、「生協創立以来の平和を求める取り組みに敬意を表する。来年の核不拡散条約(NPT)再検討会議に向け緊急行動を展開し、2020年までに地球から核兵器をなくしたい。来年の被爆60年に向け、ともに新たな決意を!」と力強くメッセージをいただき、参加者から大きな拍手が起きました。

前半の「虹のステージ」では式典を中心とした催しを、後半の「みんなのひろば」では見学や参加が自由に行なえる2部構成を採用し、これまでのステージ形式からフェスティバル形式へと大きく企画刷新を図りました。

全国各地の平和活動を紹介するブース出展には、県内・全国の生協と他団体あわせて28の応募があり、それぞれのブースで、出展者と参加者、参加者同士の交流が生まれました。

広島県内・全国66生協から約1,000人の参加があり、子どもの姿も多く、ふれあいと笑顔があふれる、活気あるひろばとなりました。

### ◆前半・式典「虹のステージ」

<オープニング>



日立造船因島生協組合員  
「姫太鼓」

<主催者挨拶>



品川尚志 日本生協連事務  
「来年は被爆60年・NPT再検討会議の年。各地の活動を寄せを合い、豊かに広げていきましょう。」



秋葉忠利 広島市長ご挨拶  
「被爆者の体験を人類共通の記憶に未来に平和の種をまこう。」

<被爆の証言>



武田靖彦さん  
13歳で被爆。姉が被爆死。「恨みを超えなければ平和は求められない」との訴えに、目を熱くしながら聞き入る参加者も

<合唱>



「ねがい」  
「もしもこの頭上に落とされたものがミサイルではなく本やノートであったら...」  
広島市立中学校卒業生が作詞した「ねがい」と、戦争などで荒れた大地を慈しむ「大地讃頌」の2曲を120人が心あわせて。

### ◆後半・フリー参加「みんなのひろば」

「見る・聞く・話す・触る・つくる」などの体験から平和を考える

出展コーナー ～全国の活動を持ち寄って～



アリーナの壁ざわいっばいに、全国の生協と多団体から計28のブースが出展。工夫をこらした活動紹介に、出展者と参加者・参加者同士の会話はずみずみ。



<テーマ別コーナー>

「つくる」コーナー



一人ひとりの平和へのおもいをかいたオリジナル缶バッジ!

子どもたちにも大人気!!



平和の火をともしよう!キャンドルづくりは行列ができるほどの盛況ぶり

「見る・触る」コーナー



「原爆と人間展」、森住卓「イラク戦争と劣化ウラン弾被害」などの写真パネル展示。被爆瓦・ボタンは触ってみることも。

# 分科会

8月4日・5日・6日

計15の多彩な企画で、子どもを含め多くの人と平和の想いをわかちあいました。

## ピースコンサート

8月4日 18:00～  
広島県民文化センターホール



多数の応募から選ばれた6組の地元ミュージシャン



第2部は中国楽器と朗読のコラボレーション  
やさしい音色とゆたかな詩の世界に350人がうっとり

公募出演：風呂哲也、田端亮、松山北斗、SocoSoco、  
River of Hearts、生協ひろしま虹のコース  
ゲスト：ラ・ルイシ、リュウ・シュウイン、角南昌代

## 食べるピース交流会



40年間で470回の核実験が行われたカザフスタン共和国セミパラチンスク市からの留学生



NGO「ヒロシマ・セミパラチンスク・プロジェクト」と「生協ひろしまお料理ママさん」の協力による美味しいロシア料理を囲んで

## 触れるフィールドワーク



被爆建造物や樹木に触れながら、「碑めぐりガイド」の解説を聞き、歩きました

## 子ども平和のつどい



戦争と平和の問題を考える体験型プログラム  
(協力：日本ユニセフ協会)

全国のおもいを広島・長崎へつなぐ

# ピースリレー ～核兵器廃絶と平和な社会の実現を願って～

## “ピースリレー2004広島県連絡会”構成団体

- 広島県原爆被害者団体協議会
- 広島県宗教者NGO協議会
- 広島県青年連合会
- 広島県原爆被害者団体協議会
- 広島県地域女性団体連絡協議会
- 広島県生活協同組合連合会

\*提唱：日本生協連

【行政の首長からいただいたご挨拶・メッセージ】

| 自治体  | お名前       | 当日お越しいただいた方    |
|------|-----------|----------------|
| 福山市  | 羽田 聡 市長代理 |                |
| 尾道市  | 亀田 良一 市長  | 代理 田頭敬康 市民生活部長 |
| 三原市  | 五藤 康之 市長  |                |
| 東広島市 | 上田 博之 市長  |                |
| 黒瀬町  | 高西 孝昭 町長  |                |
| 呉市   | 小笠原臣也 市長  |                |
| 広島市  | 秋葉 忠利 市長  |                |
| 西区   | 木下 吾郎 区長  | ご本人            |
| 佐伯区  | 石原 道雄 区長  | ご本人            |
| 大竹市  | 中川 洋 市長   | ご本人            |
| 三次市  | 吉岡広小路 市長  | 代理 佐伯豊 市民生活部長  |
| 因島市  | 村上 和弘 市長  | ご本人            |

リレーにあたって行政首長の方々からエールのメッセージをいただきました。ありがとうございます。

台風接近により、天気予報を気にながらの行進となりました(3ヶ所中止)が、つどいなどの屋内行事もあわせ県内のべ1,000人を超える参加となりました。

## ◆東京-広島コース 5/7に東京を出発し、1都2府16県をつなぎ7/26ついに広島入り!7/30には四国コース、8/2には日本海コースも合流。



<7/26岡山からの引継ぎ(福山)スタート>



岡山県連 吉永会長  
ピースリレー 広島県連絡会 兼松田副会長



<7/30四国コースからの合流引継ぎ式(尾道)>



<7/30因島>  
生口橋をバックに元気にアピール!



村上 因島市長



<8/2日本海コースからの合流引継ぎ式(三刀屋)>  
生協しなご雲南支所で横断幕を引き継ぎ、交流しました

## ◆長崎-広島コース 7/24に長崎を出発し、5県をつなぎ8/2広島入り。



<8/2山口からの引継ぎ>  
今年は初めて山口県側へ向かい、和木町→県境・大和橋→大竹市コースを山口の方々と一緒に150人で歩きました



中川 大竹市長



<8/4平和大通り>  
小雨の中85名の行進



平和公園噴水前で両コースが合流し、献花



<8/4広島本通り商店街>  
雨にもかかわらず210人が行進し、たくさんの人にアピール!



通り行進者のみなさん

## ピースリレー2004 ザ・ファイナル 8月4日

東京-広島90日間、長崎-広島12日間、全国のべ4万2千人のリレーが平和公園に集結!320人の参加のもと、ファイナルを迎え、秋葉市長のメッセージや高木さん(5年生)の作文を聞き、新たな一歩を踏み出すと決意を新たにしました。



県被団協 坪井さん



広島県生協連 富田会長



日生協 藤岡常務理事



作文朗読 高木さん(5年生)



通り行進者のみなさん



通り行進者のみなさん



通り行進者のみなさん

## ◆ ユニセフ学習会をシリーズで開催中 ～途上国の子どもたちにおもいをはせる～ ◆

### ユニセフ・ワークショップシリーズ

主催:広島県生協連合会 後援:広島県、広島県教育委員会、広島市、広島市教育委員会

県連では、多くの人と一緒に、開発途上国の子どもたちの現状を知り、ユニセフ活動への理解を広めることを目的に、学習会をシリーズで開催しています。

毎回、ゲームやビデオ視聴、現地報告などを取り入れ、体験的に楽しく学んでいます。

シリーズ第3回の1月は、難民キャンプ体験を持つスリランカからの留学生さんをゲストに迎えます。ぜひ、一緒に学びませんか? ご参加お待ちしております。



7/17(土) 第1回～ユニセフってなに?～  
“アジアの写真パズル”がそろって「やったー!!」と大歓声

申込受付中: 1月26日まで

**2005年1月29日(土) 13:30～16:30**

場 所: 中区地域福祉センター(広島市役所向かいの大手町平和ビル)

対 象: 高校生以上どなたでも

内 容: ●スリランカからの留学生による難民キャンプの子どもたちについてのレポート

●ビデオ「子どもと武力紛争」視聴 ●ワークショップ「対立とその解決」

ファシリテーター: 山本 真左美さん <(財)日本ユニセフ協会岡山県支部>

**参加費  
無料!**

## ◆ 地域福祉と地域づくり ～“ロマンとソロバン”を胸に～ ◆

### 『組織(企業)と地域社会は表裏一体。どちらかが生き残れることなどはない』

10月20日、生活協同組合共立社の山中洋理事長を迎え、「地域福祉と地域づくり」と題し、山形県庄内地方での先駆的な取り組みを学びました。

2000年の公的介護保険の導入に伴い、庄内医療生協・共立社(購買生協)・社会福祉法人山形虹の会・高齢者福祉生協の「4者協」がトップ会議を経て連携して開設した総合介護センターや、幅広い連携の事業協同組合「まちづくり協同組合『虹』」の設立の経緯と今後の展望についてのお話をうかがいました。

人口推移、産業別人口の推移、雇用情勢などの地域調査をもとに、その地域で安心して生きるために何が求められているのかを検討。“できることから始める無理のない組織と経営”を基本に、高齢者住宅の建設・運営、給食配食事業等に着手。今後さらに、地産地消を推進する食品加工・コンサルタント事業など、地域の農業や漁業の振興、経済活性化と雇用促進をも視野に入れた、幅広い地域おこしの活動を目指しておられます。「事業の採算は?」の問いに、「“ロマンとソロバン”のバランスです」と言われた山中理事長。悪天候にもかかわらず来広くださった熱意に感謝するとともに、台風で組合員の参加を断念せざるを得なかったことを非常に残念に思いました。



## ◆ 和菓子づくり ～ヘルシーな素材で～ ◆

参加組合員  
39名

主催:県連・食の安全委員会

11月29日、因島市重井公民館で、昔ながらの素材を見直そうと、和菓子づくりを行いました。上新粉・もち粉・小麦粉などの粉や、芋、豆を使って、和菓子づくりに挑戦。講師は生協ひろしまの菊本さん。今回は小豆のつぶ餡とこし餡、白花豆のこし餡も講師の手づくり!生地作りや蒸し加減、包み方に腐心しながらも各班で1品ずつ分担して数種類ができあがり、楽しく試食できました。



## Net Work

住まいのセミナー & 木の香る林間学校 ～住まいを考え、子どもたちと森を訪ねました～

### ◆住まいのセミナー2004

主催：木の香る住宅工房、広島県生協連合会、JAグループ広島

<6/12、7/10、8/21、9/11(全4回、土曜開催)>

「住まいは人生の多くの時を過ごす大切な場所・家族の健康と団欒をはぐくむ大切な場」との思いに立ち、消費者が専門家と共に安心・安全な家づくりについて学ぶ「住まいのセミナー」。

6年目の今年は、家づくりを体験した建主さんをゲストに迎えたり、実際に壁塗りを体験したりと、実感・参加重視のプログラムを実施し、大好評でした。

### ◆木の香る林間学校

主催：木の香る住宅工房 協賛：広島県生協連合会、JAグループ広島

子どもたちと森を訪ね、木の小屋をつくり、森林を五感で味わうプログラムを、今年初めて実施。森林の役割と循環型資源としての木材について、「森→木材→家づくり」の流れに沿って、ネイチャーゲームやクラフトなどを取り入れながら、楽しく学びます。

- ① 11/27(土)・・・「森づくりの見学」<廿日市市玖島の森林>
  - ② 12/18(土)・・・「建築の材料としての木を学ぶ」<広島県立林業技術センター>
  - ③ 1/22(土)・・・「家づくりの体験」<(株)キリン木材プレカット工場>
- ※第3回 1/22については、2005年1/18まで申込み受付中です。

**対 象** 子ども、大人、どなたでも参加いただけます。



林業家の説明を聞く子どもたち

～県連では「大きな買い物であり、くらしの大切な場である“家”について、森林保全の視点も持ちながら、消費者が学べる場が必要」と考え、思いを同じくする専門家グループ「木の香る住宅工房」とともに、99年からセミナーを実施しています～

### 消費者のつどい2004 主催：広島県・広島県消費者団体連絡協議会

11月26日、広島県立体育館大会議室で、広島県と広島県消費者団体連絡協議会主催で「消費者のつどい2004」が開催されました。

社会保険労務士でCFPの石津史子先生を講師に迎え、「あなたは年金あきらめ世代!?～人生80年時代の生活設計を考える～」と題して、多くの方の関心が高まっている年金について講演いただきました。新聞やニュースではわかりにくかった「給付水準(モデル世帯)50%以上確保」の意味や「マクロ経済スライドによる給付水準の自動調整」などの改正内容も理解でき、さらに問題意識を持つことができました。



軽妙な関西弁の石津先生

～県連は、消費者団体連絡協議会の事務局を担当しています～

### 特定非営利活動法人 NPO消費者ネット広島 ～講師派遣を行っています～

広島県では、現在、消費者基本法の公布・施行(2004年6月2日)を受けて消費者行政のあり方の検討と条例の見直し(2005年2月定例会議へ上程予定)がすすめられています。NPO消費者ネット広島では、8月27日に広島県に対し、消費者行政の充実と実効性の確保および条例改正に向けて、条例に盛り込むべき内容の提言活動を行いました。また、9月17日には、(政令指定都市でありながら関連する条例のない)広島市に対しても条例の制定を求める要請を行いました。

2005年2月5日には、消費者個人に代わって消費者団体が訴訟を起こすことのできる『消費者団体訴訟(団体訴訟権)制度』についての学習会(講師:板東俊矢 京都産業大学法学部教授)を予定しています。

今後も、講師派遣など地域での主体的な取り組みを積極的に支援していきますので、お気軽にご相談ください。

～県連では、NPO消費者ネット広島の事務局機能を担うなど、消費者行政の充実に向けて積極的に取り組んでいます～

## 会員生協レポーターからの報告



### 日立造船因島生協55周年 ～55年の歴史に感謝して～

日立因島生協は、本年度で満55周年の記念すべき節目を迎えました。これもひとえに、多くの組合員をはじめ地域のみなさまのご支援・ご協力と、先輩役職員の血のにじむような運営努力の賜物と、役職員一同心より感謝申し上げます。

日立因島生協の前身は「因島消費購買組合相愛社」、昭和3年に誕生し、昭和16年「因島産業報告会購買組合」と変更、昭和24年より「消費生活協同組合」として創立しました。昭和50年「日立造船因島生活協同組合」と名を変更し現在へ至っております。今後とも皆さまのご支援・ご協力をお願い申し上げます。



＜主催者挨拶＞  
感謝を述べる田頭理事長



＜記念行事・因島出身バンド「UFO」ステージ＞  
会場いっぱいの組合員とNHKみんなの歌「因島早春譜」を合唱

### 生協ひろしま ファミリー・フレンドリー企業厚生労働大臣賞 受賞

生協ひろしまが、ファミリー・フレンドリー企業厚生労働大臣賞を受賞し、表彰式が10月21日に東京都内で行われました。ファミリー・フレンドリー企業とは、「仕事と育児・介護と両立ができるような様々な制度を持ち、多様でかつ柔軟な働き方を労働者が選択できるような取り組みを行っている企業」のことをいいます。昨年のマツダをはじめ、大企業が名を連ねる中、ちばコープについて全国の生協でも2番目の受賞となりました。今回の受賞を励みに、労働環境の改善と事業・活動のより一層の発展を目指します。

### 新潟県中越地震、協同の力で支援続く ～県内の会員生協から1,600万円を超える義援金～

新潟県中越地震について、全国の生協で被災地への支援の輪が広がっています。

発生3週間後の11月14日までに、全国の生協から派遣されたボランティアは、車両250台、人員800名を数え、その後も引越しボランティアなどが続けられています。また、全国100以上の生協で募金活動が行われています。

広島県連(12会員生協)においては、労済生協は共済を通じた支援を、他11生協では、職員のボランティア派遣や組合員・役職員の募金活動を行っています。12月8日現在、お寄せいただいた義援金は1,611万円にのぼり、現在も続いています。これらは、日本赤十字社や新潟県生協連を通して、新潟県など公的な機関にお届けし、復旧に役立てていただきます。

引き続き、あたたかい協同の輪を広げていきたいと思ひます。

#### ＜全国の生協の取り組みは・・・＞

日本生協連では、発生直後より新潟県生協連と連絡をとり、翌24日には対応体制を整え、支援物資(水2リットルボトル11,520本、携帯カイロ3,000個、カップ麺2,496個、パン24,000個、トイレトイペーパー3,000個、タオル1万枚)を手配し、25日には地域生協を通して各市町村の対策本部に届けました。

24日に日本生協連医療部会が対策本部を、26日に日本生協連として復旧支援本部を立ち上げ、全国からのボランティア活動は現在も続いています。今後は、降雪ボランティアなどを行う予定です。また、医療生協では、医師・看護師派遣に取り組み、組合員と避難住民の診療・健康相談にも取り組んでいます。